

宇治山田港



三重県

三重県港湾海岸協会

親しみのある港づくりを計画

宇治山田港

地方港湾

地方港湾指定	昭和27年9月1日
港湾区域面積	1,200ha
関係市町村	伊勢市



1 沿革と現況

宇治山田港は、伊勢市南端を流れる五十鈴川・勢田川の河口に位置する地方港湾で、宮川本川の右岸下流端から夫婦岩までを港湾区域とする河口港です。往時は勢田川上流の河崎港、河口附近の神社港、大湊港よりなり、全国各地からのお伊勢まいりの客を乗せた船や、外来の物資を集散するさまざまな船が往来していました。

徳川時代の中期には、大湊、神社港は伊勢内陸の外港として、河崎港は住民と膨大な参宮者の生活消費物資を供給する問屋街として発達。明治に入ると、豊橋・蒲郡方面、神戸・大阪方面との航路が開かれ、さらなる発展を遂げました。

昭和の初めになっても市内に出入りする物資は、その8割が大湊・神社・河崎の3港によるものだったといえます。しかし、その後の陸上交通の急速な発展とともに港勢は徐々に衰え、なかでも内港の河崎港は回船問屋群の姿はとどめているものの、港としての機能は失われました。

現在は、神社・大湊・一色・今一色・二見地区に大別され、神社地区の砂利・砂など建設用骨材取扱量は県下有数の規模を誇ります。大湊地区は歴史をもった造船技術を営々と引き継ぐ中・小型船建造を主に、一色・今一色地区は漁業の基地として、また二見地区は春や秋には観光客、夏は海水浴の人々でにぎわいを見せています。

2 主要な港湾施設の現況

1) 係留施設

施設名	水深(m)	延長(m)
岸壁	-4.5	155
物揚場	-3.5	70
	-1.5	80
	-1.2	170
	-1.0	220

2) 水域施設

名称	水深(m)	延長(m)	幅員(m)
航路	-3.5	1,900	50
	-4.5	380	75

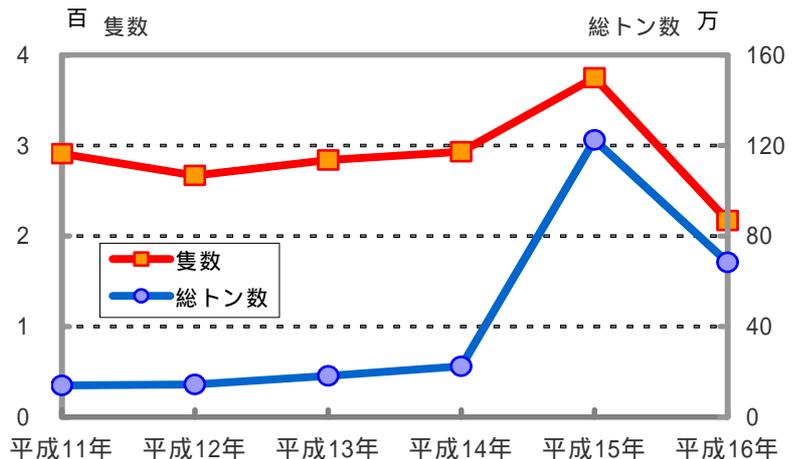
3) 泊地

名称	水深(m)	面積(千m ²)
泊地	-1.0	11.5
	-1.2	6.4
	-1.5	6.0
	-3.5	10.8
	-4.5	44.0

3 港勢

1) 入港船舶

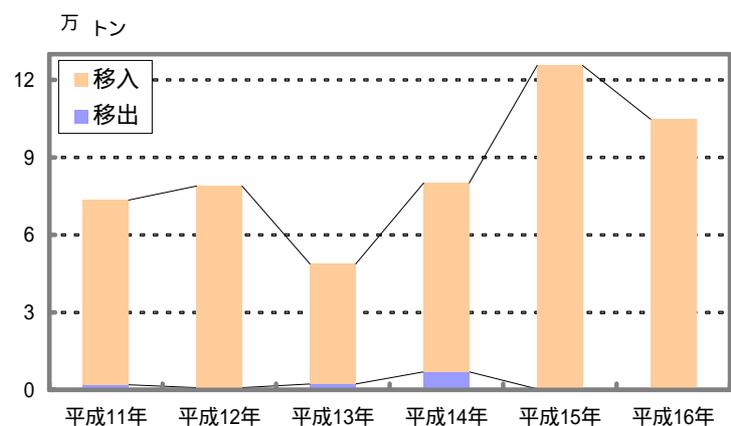
年	隻数	総トン数
平成11年	291	139,049
平成12年	267	144,322
平成13年	284	181,294
平成14年	293	223,378
平成15年	375	1,224,743
平成16年	217	684,214



2) 取扱貨物量

単位：トン

年	合計	移出	移入
平成11年	73,492	2,004	71,488
平成12年	78,944	832	78,112
平成13年	48,795	2,303	46,492
平成14年	80,167	7,050	73,117
平成15年	125,627	331	125,296
平成16年	104,825	207	104,618



3) 平成16年取扱貨物の品種別数量

単位：トン

品種	移出	移入
砂利・砂	0	51,792
その他機械	200	0
廃土砂	0	52,820
分類不能	7	6
計	207	104,618

4 海岸事業

伝統的な文化・歴史を物語る「ふるさと海岸整備事業」

大湊地区海岸は、「自然に親しみ、歴史を感じさせる海岸」をテーマとし、「ふるさと海岸整備事業」として平成4年度～平成11年度に海岸整備を行いました。

二見地区海岸は、日本で初めて海水浴場に指定された由緒ある海岸です。しかし、現在砂浜は侵食によりかつての風景を失いつつあり、堤防の老朽化も見られるため、平成12年度から海岸整備を行っています。背後では二見浦公園の「街なみ環境整備事業」や住民参画型の「二見町地域住宅計画」(HOPE計画)が策定されていることもあり、堤防改良・養浜・突堤などにより保全機能とともに景観の回復を図れるよう海岸整備を進めています。

5 港湾区域

